

令和 8 年第 3 回久米島町議会定例会一般質問

令和8年3月5日～3月9日

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	田端 努	1. 観光名所・文化財・歌碑について	3月5日(木)
		2. 家庭ごみの分別について	
		3. 防災減災への取り組みについて	
2	赤嶺 秀徳	1. パークゴルフ場について	
		2. 儀間川の環境について	
		3. 道路環境について	
		4. 歯科検診事業について	
3	盛本 實	1. 離島町村事務共同処理制度の活用について	
		2. 沖縄振興予算について	
		3. 施策の総括について	
4	喜久里 強	1. 農業・漁業の担い手不足と生活コスト問題について	
		2. 本町のバナナに関する病害への対応について	
5	保久村 登	1. 複式学級配置支援の確保と教育委員会の責務について	
		2. 「久米島町立学校統合・再編計画策定業務委託(業務委託)」と「久米島町立学校等適正規模・適正配置検討審議会(審議会)」について	

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地 猛	1. 海洋深層水利活用について(施政方針)	3月6日(金)
		2. 農林水産業の活性化について(施政方針)	
		3. 環境保全と地域美化について(施政方針)	
		4. 上下水道事業の推進(施政方針)	
		5. 福祉センターの建設について	
2	真栄平 建正	1. 学校の統廃合について	
		2. 郵便局の一時休業について	
		3. 久米島町先導的官民連携事業(バーデハウス・パークゴルフ場)プロポーザルについて	
		4. 道路整備について	
3	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治	
		2. 自然再生等について	
		3. 仲里小学校前から泊間の県道拡張工事について	
4	喜久里 猛	1. 施政方針から	
5	新垣 幸子	1. 畜産振興について	
		2. 町立学校等適正規模・適正配置の取り組みについて	

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	吉永 将志	1. だるま山の桜並木について 2. パブリック・コメント募集の現状と課題について 3. 選挙運営について 4. 学校区分の変更に対する基準について 5. シルバー人材センターについて	3月9日(月)
2	富永 肇	1. 学校教育について 2. 学校給食費無償化について 3. 学校の適正規模、適正配置について 4. 物価高騰への支援事業について	
3	棚原 哲也	1. 日台漁業取り決め及び日中漁業協定の見直しについて 2. 海洋深層水を活用した町おこしの状況について 3. 奥武島西海岸の砂浜の保全対策について	

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
13	田端 努	1. 観光名所・文化財・歌碑について	<p>本町の観光振興について、第3次久米島町観光振興基本計画の基本理念にもあり、町長の施政方針の中でも述べられている「持続可能な島の未来をつくる 共創ツーリズム」を基本理念として掲げているが、様々な方面からの観光客の誘致を行っている反面、観光名所・文化財等の保全活動が疎かになっているのではないかと感じる部分がある為、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 観光名所について</p> <p>ア、観光名所の保全活動をどの程度の頻度で行っているか伺う。(草刈り、清掃など)</p> <p>イ、海に面した観光地の海岸漂着ごみについて、これまで幾度となく議員より質問があったが、シルバーの人材を起用して、ごみの回収活動などはあったか伺う。</p>	町長	<p>(1)</p> <p>ア、観光名所の保全活動につきましては、観光地及び関連道路を含め町一円で46か所を年間通じて数回実施しております。</p> <p>イ、海岸漂着ごみの回収活動については、沖縄県海岸漂着物等地域対策推進事業の活用や、町民を含めたボランティア活動を通して協力をいただいておりますが、これまでにシルバー人材を起用した活動の実績はございません。</p>	環境保全課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>ウ、観光名所のトイレの設置を提案したが、その後の進捗状況について伺う。</p>	<p>町長</p>	<p>ウ、観光名所へのトイレ設置について町といたしましても、観光客の利便性向上は重要な課題であると認識し、担当課において現地調査および設置の可能性について精査を行いました。現時点では、当該地へのトイレ新設は、極めて困難であると判断しております。その理由としては、景観への影響、自然災害のリスクと維持管理の難しさ及びインフラ整備に伴うコスト面での課題があり、限られた財源の中で、費用対効果を鑑みますと、常設のトイレ設置は慎重にならざるを得ない状況でございます。今後は観光客の皆様にご不便をおかけしないよう、近隣の既存施設の活用や案内看板による周辺トイレへの適切な誘導など、ソフト面での対策強化に努めてまいります。</p>	<p>商工観光課</p>

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(2) 文化財について</p> <p>ア、本町の国・県・町指定文化財は、それぞれいくつあるか伺う。</p> <p>イ、保全活動はどの程度の頻度で行っているか伺う。</p>	教育長	<p>(2)</p> <p>ア、本町の国・県・町指定文化財の件数について 本町における指定・登録文化財の件数につきましては、国指定文化財：8件、国登録文化財：1件、県指定文化財：11件、町指定文化財：45件です</p> <p>イ、文化財の保全活動の頻度について文化財の保全活動につきましては、現在、清掃等を担当する職員2名体制により実施しております。原則として、1か所につき月1回程度の頻度で巡回・清掃等を行っておりますが、グスクなど敷地が広く、地形的条件が厳しい文化財につきましては、1か所の作業に1週間程度を要する場合があります。また、夏場を中心とした雑草の繁茂時期におきましては、作業時間や回数が増加することもあり、限られた人員の中で優先順位をつけながら対応しているのが現状であります。</p>	博物館

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			ウ、説明用の表示看板が老朽化などで破損したのか、設置されていない個所もある。今後設置予定はあるのか伺う。	教育長	ウ 説明用表示看板の設置状況と今後の予定について 文化財の説明用表示看板につきましては、経年劣化等により破損しているものが一部確認されております。一方で、文化財の立地条件や景観への配慮、設置スペースの制約等により、物理的に看板設置が困難な箇所が存在することも事実であります。 今後は、必要な案内板を整理し、設置について関係課と協議してまいります。代替手段として、本町が協力し、Web上で公開している「くめじマップ」において、文化財の解説情報を掲載し、来訪者がスマートフォン等で閲覧できる環境整備を行っております。	博物館
			(3) 琉歌・歌碑について 本町内に10か所設置されており、ある程度清掃活動も行き届いているように見受けられるが、観光のスポットとして巡る観光客もいるなか、黒石森公園の東屋のベンチが老朽化により危険な状態にある。補修か撤去の予定はないか伺う。	町長	(3) 黒石森公園の東屋につきましては、ベンチの固定部分の老朽化により崩れた状態となっておりますが、木材自体は再利用できるので早急に補修いたします。	環境保全課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 家庭ごみの分別について	各家庭においては、本町発行の「家庭ごみの正しい分け方・出し方」の表に沿って分別し、ゴミ出しを行っていると思うが、新しいごみ処理施設も建設中であるため、分別の現状と問題点について、以下の点について伺います。			
			(1) ごみの分別はどの程度守られているか。また収集不可能なゴミの割合はどの程度か伺う。	町長	(1) ごみの分別がどの程度守られているか、収集不可能なごみの割合などの統計はありませんが、ごみの分別が適正ではなく、未収集となる場合にごみ袋に貼る「ごみ分別注意シール」の使用枚数については、令和6年度に2,591枚、令和7年12月末現在で1,615枚となっております。	環境保全課
			(2) ペットボトル類の出し方（ラベル・キャップの分別など）がまちまちの様だが、今後統一するのか伺う。	町長	(2) ペットボトル類の出し方については、ラベルを剥がせるものは剥がして燃えるゴミへ、プラスチック類のキャップについても燃えるゴミへ分別するように周知しております。今後も継続して周知をしながら分別方法に理解いただけるよう取り組んでまいります。	環境保全課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(3) 既存の有料ゴミ袋のサイズが、大・中・小と3種類あるが、それ以外に小さいサイズの袋が欲しいとの声が多数ある。検討出来ないか伺う。</p>	町長	<p>(3) 既存の有料ゴミ袋以外で少量サイズの大きさがどのくらいの容量が適切で利用しやすいのか利用者の意見や他市町村の導入状況などを参考に検討いたします。</p>	環境保全課
		3. 防災減災への取り組みについて	<p>本町の防災減災について、これまで幾度なく質問・提案をさせてもらったが、形に残るような取り組みや改善がほとんど見えてこない。町長は過去の一般質問時には全庁あげて取り組むと答えており、施政方針でも「近年頻発している地震や大規模災害に備え迅速・適切に対応するため(省略)防災体制の強化に努めていく」とあるが、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 前回質問時に指摘させてもらった令和8年2月に賞味期限切れとなる各地区の防災倉庫にある保存食はどのように処理する(した)のか伺う。</p>	町長	<p>(1) 賞味期限が近い非常食につきましては、保存年限が5年の商品がほとんどとなっており、現状の保存状況等を確認しメーカーに問い合わせしたところ、温度、湿度等の保存状況が適正とはいえず安心して提供できる状況ではないと判断し、2月で期限を迎えた商品については、廃棄しております。</p>	総務課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 雨漏りや劣化により老朽化した防災倉庫は、そのまま使用し続けるのか伺う。	町長	(2) 現在6基設置しています防災倉庫につきましては、災害時における物資保管や迅速な配備体制の観点から、安全性・機能性の確保が極めて重要であると認識しております。安全性、保管機能への影響等を確認し修繕が可能であれば対応して使用することとし、修繕が厳しい箇所については、更新整備や移設を含めた対応を検討してまいります。	総務課
			(3) 前回提案した、久米島斎場を避難場所として指定できないか。合わせて防災倉庫の設置は出ないか伺う。	町長	(3) 久米島斎場につきましては、本来の施設目的がございますので担当部署との連携により、災害種別や状況に応じた一時的な避難場所として活用ができればと考えております。また防災倉庫につきましては、避難所機能を補完する重要な設備と考えておりますので、空きスペースを活用し、施設整備を進めてまいります。	総務課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(4) 災害時の初動体制を図る意味でも、現消防庁舎は海拔や道路状況など立地的にも不向きであり、庁舎自体の老朽化も顕著であるため、移転を進めるべきであると指摘させてもらったが、今後について町長の見解を伺う。	町長	(4) 消防庁舎につきましては、現在、令和8年度の改修工事に向け事務作業を進めているところでございます。今回改修とした経緯としましては、関係課と改修、長寿命化、新築、移転について協議し改修工事としております。 この改修工事は、危険個所及び施設の不具合部分を早期に解消することを目的としております。議員ご指摘の消防庁舎の移転につきましては、今後、本庁舎等との防災拠点の集約を見据え前向きに検討してまいります。	消防本部
			(5) 防災に関する専門家を招いての講演会などは出来ないか伺う。	町長	(5) 町民の皆さまの災害に対する日頃の備えの重要性について、これまでも周知しているところですが、講演会の実施も非常に有効な手段だと考えております、ぜひ開催したいと思っております。	総務課
			(6) 防災士の育成も重要であると考え、見解を伺う。	町長	(6) 防災士につきましては、消防職員や町職員の資格取得また、町民の皆さまも災害に対する備えの意識の高さから資格取得する方々も増えつつあります、今後各地域に防災士を取得した方々が増えることで、防災力の向上に繋がると考えております。資格取得の助成制度等を整備することで更なる資格取得向上に努めてまいります。	総務課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
12	赤嶺 秀徳	1. パークゴルフ場について	令7年度パークゴルフ場の状況について、3点伺う			
			(1) 管理状況について	町長	(1) パークゴルフ場の管理状況につきましては、事務員(1名)、現場管理員(4名)の体制で週休2日シフト制、年中無休の営業となっております。施設内では(9ホールの5コース合計45ホール)の芝生管理が主となっております。	環境保全課
			(2) 稼働状況について	町長	(2) 令和7年度の稼働状況につきましては、令和8年1月末現在で利用者が15,290名、1日当たり平均利用者数が44名となっております。	環境保全課
			(3) 避難所の稼働状況について	町長	(3) 令和7年度の稼働状況につきましては、令和8年1月末現在で2階会議室の利用が3件、シャワー室の利用が17件となっております。島外から参加する大会においては休憩所として開放しております。	環境保全課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 儀間川の環境について	<p>儀間川の環境については、これまでも何度となく質問して来たが地域住民が納得できるような環境改善に至っておらず、年を追うたびに環境の悪化がみられる。以前、水質調査の質問に対して水質調査は行っている。</p> <p>水質には何ら問題はなかった。との答弁もあった。4点伺う。</p> <p>(1) 堆積土砂の浚渫及び河口の浚渫の予定はあるか</p>	町長	(1) 河川管理者である沖縄県に確認したところ、儀間川浚渫工事を令和8年3月末発注に向け手続きを進めているとのことです。	建設課
			(2) 令和7年度の水質調査の結果は。	町長	(2) 令和7年度における儀間川の水質調査は実施しておりませんが、令和6年度に儀間ダム付近で有機フッ素化合物(PFOS・PFOA)調査を実施しており、結果については異常な数値は検出されませんでした。	環境保全課
			(3) 令和8年度の水質調査の予定は。	(4) マングローブが立ち枯れしている原因究明を図るべきでは。	町長	(3) (4) 令和8年度に水質調査は予定しておりませんが、マングローブの立ち枯れに関しては、専門家に調査を依頼し原因究明する予定でありますので、その結果で水質調査を行うか検討したいと考えております。

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 道路環境について	<p>本町の主要幹線道路の環境は劣悪である。中央線、車道外側線の殆どが消滅して視認できない状況にある。特筆すべきは、字嘉手苅方向からの字兼城に入る五差路の交差点である。あるべき道路標示が全く視認できない。停止線、中央線等早急に対策が必要と考える3点伺う。</p> <p>(1) 町内幹線道路の環境調査を随時実施しているか。</p>	町長	<p>(1) 道路標示については、規制・指示標示は那覇警察署、その他は道路管理者の管理となっておりますので、各管理者へ改善要望するとともに、町管理につきましては計画的な整備を図り、安全対策に努めてまいります。</p> <p>環境調査については、道路パトロールや町民からの情報提供等により現状把握に努めております。</p>	建設課
			<p>(2) 道路標示等の今後の工事計画はあるか。</p>	町長	<p>(2) 町管理の道路標示等については、計画的な整備に努めてまいります。</p>	建設課
			<p>(3) 字北原地内牛舎横道路の改修の用途は。</p>	町長	<p>(3) 北原地内牛舎横の道路改修については、飛行場城跡線の用地取得の可能性を検討し、道路改修をするか判断したいと考えております。</p>	建設課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		4. 歯科検診事業について	後期高齢者医療広域連合が行う歯科検診事業(ハイサイ歯科検診)を町の対象者等に対してどの様に周知を行っているか3点伺う (1) 周知の方法は	町長	(1) 周知方法につきましては、指定医療機関へのポスター掲示及び広報誌にて歯科検診事業の周知を図っております。又、対象者に受診券を送付し受診勧奨に努めております。	福祉課
	(2) 町内の対象者は何名か		町長	(2) 4月1日時点で本町に住民登録がある75歳から79歳の被保険者318名が対象となります。	福祉課	
	(3) 令和7年度の検診実績は		町長	(3) 2月13日時点の受診者数は14名となっております。受診率は4.4%、県平均は3%と低い状況となっております。今後は未受診者への受診勧奨を強化し、受診率向上に努めてまいります。	福祉課	

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
8	盛本 實	1. 離島町村事務共同処理制度の活用について	<p>県では2026年度から離島自治体で課題となっている職員不足に対処するために、県庁の市町村課に「離島町村総合事務センター（仮称）」を設置し離島地域の町村役場の事務の一部を集約して共同処理し、業務の効率化を図ろうと取り組んでいる。これは地方自治法に基づき設置され、参加を希望する離島町村と県で構成することになっている。</p> <p>本町として、その制度に参加する意向があるか伺います。</p>	町長	<p>離島町村総合事務センター（仮称）につきましては、職員数が必要数を満たしていないことなど、職員不足による行政サービスの維持が課題となっていることから、離島町村の事務をまとめることにより業務の効率化等を効果として、離島町村総合事務センターの設置を予定しております。</p> <p>本町においても行政サービスの維持や広域行政のあり方を踏まえ、共同処理できる事務については、積極的に参加していきたいと考えております。</p>	総務課
		2. 沖縄振興予算について	<p>国において令和8年度当初予算案で示された沖縄振興予算は「『強い沖縄経済』の実現に向けて、各般の産業振興施策を推進するとともに、物価高騰にも対応」との方針のもと、10年ぶりの増額となっており、市町村関連予算では「沖縄振興一括交付金」「沖縄離島活性化推進事業」ともに増額との事ですが、本町の配分額については幾らとなっておりますでしょうか。また、その予算の用途について伺います。</p>	町長	<p>本町の令和8年度当初における「沖縄振興一括交付金」の配分額は2億5千8百万円、「沖縄離島活性化事業」の申請予定額は1億3千4百万円となっております。</p> <p>実施事業につきましては、「沖縄振興一括交付金」において、「優良雌牛導入事業」「久米島特産品販路開拓事業」「観光誘客促進事業」「スポーツコンベンション推進事業」「特別支援教育支援員配置事業」「歴史遺産保存活用事業」等の25事業、「沖縄離島活性化事業」では、「定住促進住宅整備事業」「島外幼稚園教諭等確保対策事業」「親子支援事業」等の7事業を予定しております。</p>	企画財政課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 施策の総括について	自治体の首長として、掲げた政策が住民の福祉の向上と、地域の持続的な発展に繋がっているのかどうかの成果や課題について検証し対策を施すのが責務だと思います。町長は就任後初の定例会（令和4年6月定例会）において、すべての子供が元気で明るく・若者が夢と希望をもてる・お年寄りが安心して暮らせるまちづくり、全ての世代が住みやすいまちづくり「夢つむぐ島・久米島」を目指し6本の基本姿勢と付随する政策を展開すると表明しておりその6本の基本姿勢とは次のとおりです。	町長	私が町長就任の所信表明において申し述べた「6本の基本政策」につきましては、「第2次久米島町総合計画」の各施策において着実に実施してまいりました。実施にあたっては、各事業担当課での検証・見直しも行いながら取り組んでまいりました。結果として、町民福祉の向上に繋がった施策や更なる取り組みの継続と拡充が必要な課題もあります。4年間の取り組みにおける、各政策毎の総括および自己評価について申し述べます。	企画財政課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			一つ目 農林水産業の活性化。		<p>一つ目の農林水産業の活性化につきましては、さとうきびは適期植付の推進やかん水対策の実施、ハーベスター収穫機械機能向上事業及び各種土づくり助成事業を活用したことにより年々増産となっております。肉用牛につきましては、セリ価格の低迷により、生産額が減少しておりましたが、直近のセリ価格は平均661千円と持ち直しの兆しがみられております。病害虫につきましては、甘しょで基腐病に強い品種の導入に取り組むとともに、新たに沖縄県と連携し、セグロウリミバエの根絶防除に向け取り組むこととなっております。水産業につきましては、気候変動による猛暑や、種苗の不調により養殖車エビやモズクの生産額が減少しておりますが、海ぶどうや魚介類セリは年々生産額が向上しております。</p>	産業振興課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			二つ目 商工観光産業の活性化。	町長	<p>二つ目の商工観光産業の活性化につきましては、観光分野において第3次観光振興基本計画を策定し、「観光」が持つ力を島の持続可能な成長につなげるため、島民と来島者が共に創り上げる「共創ツーリズム」を基本理念に取り組んでいます。具体的には地域資源を活かした「稼ぐ力」の育成するため、くめじまDMOや観光協会が中心となり、高付加価値化に向けた取組の推進や体験交流型観光として教育旅行の誘致を積極的に行っております。また、交通事業者との連携のもと、観光バスの充実、路線バス運行の効率化やタッチ決済の導入、タクシー配車アプリの導入支援など、二次交通の利便性向上に取り組んでいます。商工分野においては、商工会と連携し島内事業者を対象としたブランディング支援や全国海洋深層水協議会の大会開催等を通じた久米島モデルのPRなど、島の認知度向上に努めております。</p>	商工観光課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			三つ目 福祉の充実。	町長	三つ目の福祉の充実については、子ども・子育て支援、町民の健康づくり、障害者福祉、高齢者福祉等の取り組みを着実に推進してきたと考えております。特に喫緊の課題であった仲里歯科診療所の新設再開により、町民のQOL(生活の質)の向上に寄与したと考えております。一方で、認定こども園整備については遅れが生じております。学校適正規模・適正配置との整合性を図りながら、引き続き取り組んでまいります。	福祉課 こども未来課
			四つ目 教育の充実。	教育長	四つ目の教育の充実については、取り組みを着実に推進してきたと考えております。特に、国におけるICT教育の推進に伴い、個別最適な学びに向けITを活用した学びの幅を広げることができました。この取り組みにより、高いレベルの教育を提供する土壌が整ったと考えております。 老朽化が著しい学校給食センター施設の整備についても、学校給食のみならず高齢者や障がい者への配食サービスも行う複合型の「食の拠点施設」として整備しているところであり、小規模自治体の取り組みとして他自治体からも注目されております。	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			五つ目 公共事業の安定化。	町長	五つ目の公共事業の安定化については、地元企業へ優先発注を行い、地域経済の振興と地元企業の育成を図っており達成できたと考えております。	建設課
			六つ目次世代産業の誘致。	町長	六つ目の次世代産業の誘致について海洋深層水事業を対外的に発信することによって企業誘致に繋げてまいりました。成果として、海洋温度差発電実証実験の民間事業者参入から包括連携協定を締結。葉物野菜水耕栽培事業者による実証事業の開始。その他にも既存企業との協業マッチングを行っています。令和5年度に策定を完了させた全体計画において、施工技術等の課題が明確になり、現段階において取水管大規模化の具体的な目途は立っておりませんが、課題解消に向け着実にステップアップしているものと評価しております。	プロジェクト推進課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			町長の任期も残すところ約2ヶ月となりました。そこで、この4年間を振り返って、掲げた政策の総括についてどのように評価しているのか伺います。評価につきましては、自己評価並びに他者評価も含めます。	町長	<p>以上が「6本の基本政策」の総括および自己評価となりますが、その他にも令和9年供用開始予定の「久米島町新クリーンセンター建設整備」等、「すべての世代が生き活きと暮らせる島」の実現を目指し尽力してまいりました。</p> <p>他者評価につきましては、令和5年度に実施した「久米島町総合計画後期基本計画等の外部評価」ならびに、令和6年度に実施した「住民アンケート」の結果からの所感となりますが、外部評価においては、「生まれる」「育つ」「学ぶ」「老いる」「島を訪れる」世代への施策については、一定の評価がなされた一方で、「働く」「暮らす」「次世代」への施策については、事業の拡充や更なる取り組みの強化を求められる結果でした。</p> <p>また、住民アンケートについては、「島への愛着・誇り」「島ぐらしの幸福度」において、約8割から9割の肯定的な回答が得られたものの、「世帯家計の状況」において、約4割が「厳しい</p>	企画財政課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					<p>状況」との回答で、「島での生活に関する満足度」としましては、27項目のうち8項目が「満足・ほぼ満足」、19項目が「やや不満・不満」との結果でした。</p> <p>評価やアンケート結果における未達事項については、更なる取り組みが求められている課題だと認識しております。</p> <p>就任当初はコロナ禍からのスタートでしたが、アフターコロナでの暮らしや経済の回復に努めながら、掲げた「6本の基本政策」については着実に実行し、取り組んでまいりました。</p> <p>以上が、私の4年間の総括となります。</p>	
4	喜久里 強	1. 農業・漁業の担い手不足と生活コスト問題について	(1) 農業・漁業の担い手不足について、町としては、従事者の高齢化や後継者不足に加え、離島特有の物価・生活コストの高さが定着を妨げる要因となっていると思うが、町の現状認識を伺う。	町長	(1) 農業・漁業の担い手不足につきましては、人口減少や従事者の高齢化、後継者不足が深刻な課題であると考えております。また、離島特有の物価や生活コストの高さが、新規就業者の定着を困難にしている側面もあると認識しております。	産業振興課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(2) 収入が不安定な中で生活コストの負担が重い状況では、就農・就漁しても定着しにくいと考えます。担い手不足を、生産面だけでなく、生活面を含めた支援を課題として捉える必要があると考えますが、町の見解を伺います。</p>	<p>町長</p>	<p>(2) 担い手不足につきましては、生産基盤の整備のみならず、生活面の安定が不可欠であると認識しております。 農業分野におきましては、沖縄県農業次世代人材投資事業や新規畑人（はるさー）資金支援事業を活用し、就農前後の経営確立を支える資金を交付することで、生活基盤の安定を含めた支援に努めております。 漁業分野におきましては、漁業担い手確保緊急支援事業等により、就業準備資金の交付や長期研修、機材導入への支援等があります。本事業は漁協等が主体となって実施するものではありませんが、町としましても、関係団体と緊密に連携を図り、漁業を志す方が安心して定着できる環境づくりを後押ししてまいります。</p>	<p>産業振興課</p>

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(3) 以上を踏まえ、農業・漁業の担い手対策について、今後はこれまでの生産支援に加え、離島特有の物価・生活コストの高さを踏まえた「生活として成り立たせる支援」へ視点を転換する必要があると考えます。</p> <p>そこで具体策として、例えば、</p> <p>ア. 就農・就漁初期の一定期間に限定した燃料費や物流費など生活コストへの重点的支援</p> <p>イ. 島内で生産された農水産物の学校給食や公共施設での優先的活用による安定的な所得確保</p> <p>ウ. 農業・漁業と観光や副業を組み合わせた複業モデルの制度化</p> <p>こうした施策を担い手対策と生活支援を一体的に進める形で検討していく考えはあるのか、町の基本的な方針を伺います。</p>	<p>町長</p>	<p>(3) 農業・漁業の担い手不足につきましては、単なる産業の衰退に留まらず、地域の活力や生活基盤そのものを揺るがす喫緊の課題であると認識しております。就農前後の経営確立支援につきましては、引き続き農業次世代人材投資事業等を活用してまいります。</p> <p>島内産の農水産物に関しましても、地産地消に努め、学校給食等に活用してまいります。また、農業・漁業と観光を組み合わせた体験ツーリズムを検討している農家もごございますので、先行事例の情報収集を行いながら、本町に適した支援の形を検討してまいります。</p>	<p>産業振興課</p>

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 本町のバナナに関する病害への対応について	<p>1. 本町では数年ぐらいまえから、バナナの生育不良や枯れ上がりといった症状が蔓延している。特にいわゆる島バナナという種類、それを町が把握しているか伺う。</p> <p>2. この症状は、バナナ栽培者間では「パナマ病ではないか？」という声が聞かれるが、町は「パナマ病」に関する情報は持っているか伺う。</p> <p>3. 現段階で病名を断定しないとしても、症状に気づいた場合の相談先は？</p>	町長	<p>1. 島内における島バナナの生育状況につきましては、葉が下部から黄色く変色し、最終的に株全体が枯れる個体が確認されていることを町としても把握しております。</p> <p>2. ご指摘の症状につきましては、フザリウム菌というカビの一種が根から侵入する「バナナパナマ病」であると認識しております。本病は、道管（水の通り道）が詰まることで栄養や水分が行き渡らなくなる世界的な難病であり、現時点では有効な殺菌剤や治療法が確立されておられません。</p> <p>3. 今後の対応と相談先につきましては、本病は土壌感染により被害が拡大するため、感染した株の速やかな焼却処分や、汚染された土壌への再植え付けを避けるといった予防的措置が極めて重要となります。</p> <p>異変に気づいた際の相談窓口は、町産業振興課となります。被害の蔓延防止に向け、専門機関とも連携しながら情報収集・情報提供に努めてまいります。</p>	産業振興課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	保久村 登	1. 複式学級配置支援の確保と教育委員会の責務について	教育委員会職員から、支援員が欠員となったが応募者がいないため、補充できていないとの説明があった。			
			(1) 教育委員会は、地域の教育水準を維持し、適切な教育環境を提供する責務があり、学級編成及び教職員定数の標準に関する法律に基づき、必要な教職員や支援員を配置する責務があると考えますが、如何か。	教育長	(1) 教職員の配置につきましては、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律に基づき適切に配置されております。	教育課
			(2) 国が示す学級編成基準の弾力的運用を、本町ではどのように解釈し、予算に反映させているか。複式学級の不利を補うための支援員配置は努力目標ではなく教育委員会の法的責務ではないか。	教育長	(2) 学級編制と教職員の定数についても、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律に基づき適切に配置していると理解しております。県においては「複式学級教育環境改善事業」を実施しており、学習支援員としての非常勤講師を配置できるとしております。複式学級への非常勤講師の配置は県事業であり、法的責務はありません。現時点でも申込者がいない状況であります。	教育課
			(3) 教育支援体制整備事業費交付金などの国庫補助金を、本町は上限まで活用し切れているか。一般財源の持ち出しを恐れ、子供たちの学習機会を損ねていないか。	教育長	(3) 教育支援体制整備事業費の活用実績はありません。本町では一括交付金事業を活用し、各学校へ特別支援教育支援員等を配置するなど多様な児童生徒への学習支援に努めているところであります。	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(4) 応募がないということですが、海士町のように地域おこし協力隊制度を教育支援に充て、島外から意欲ある若者を呼ぶという「採用手法のアップデート」を検討しましたか。待ちの姿勢の募集を続け、「人が来ないから配置できない」というのは教育委員会の努力不足ではないでしょうか。次年度に向けて、募集条件の引き上げや広報ルートの多角化を、いつまでに、どのように改善するか、お答え下さい</p>	教育長	<p>(4) 教育委員会における地域おこし協力隊の採用状況としましては、中学校にまなびやコーディネーターとして4名、よんなあ教室に教員経験者1名配置しております。</p> <p>人材不足が生じた際には、島内で応募がなければ島外からの募集も視野に入れ取り組んでまいります。</p>	教育課
		<p>2. 「久米島町立学校統合・再編計画策定業務委託（業務委託）」と「久米島町立学校等適正規模・適正配置検討審議会（審議会）」について</p>	<p>(1) 業務委託公募型プロポーザルによる業務の契約主体は、町長か、教育委員会か。</p>	教育長	<p>(1) 本業務における契約締結者は町長となり、契約に係る事務は教育委員会で行っております。</p>	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) なぜ、教育委員会の事務である学校再編計画の業者選定を、町長が主導する要綱が作られたのか。	教育長	(2) 業者選定に関して、他市町村の公募要領等を参考に作成したところであり、教育委員会だけでなく、全庁あげて取り組みたいと考えたうえで要綱を作成したところです。	教育課
			(3) 教育委員会から町長への権限委任、あるいは共同実施に関する法的根拠は何か。	教育長	(3) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第22条において契約に関する事務は、地方公共団体の長が執行することとなっております。共同実施に関して法的根拠はないと考えております。	教育課
			(4) 企画提案審査委員会の構成委員は、どのような基準で選任されたか。	教育長	(4) 企画提案審査委員会の構成委員についても、他市町村の公募方法を参考にしたところであり、学校適正規模・適正配置に関して町長部局と連携の必要があると考え副町長を委員長とし、関係課長を委員に選任したところであります。	教育課
			(5) 総務省の「地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続ガイドライン」では、プロポーザルの公正性を保つため、必要に応じて学識経験者等の外部委員を参画させることが推奨されている。本件の場合、評価基準も公開された形跡がない。これで透明性が担保されていると言えるか。	教育長	(5) 国が定めるプロポーザル方式運用ガイドラインでは中立かつ公正な審査・評価を行う必要性の記載があります。今後の審査について、審査方法や評価基準などプロポーザルの実施について透明性を図ってまいりたいと思います。	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(6) 審議会の答申前にプロポーザルを実施したのはなぜか。審議会は「学校をどうすべきか」を検討する場である。その結論が出る前に「計画を作る業者」と契約してしまうと、「統合ありきの出来レース」との指摘をされると考えなかったのか。また、審議会の結果、「統合すべきではない。」という意見が出た場合、すでに契約した業者への委託が無駄になるか、無理矢理統合計画を作らせることになり、公金の無駄遣いや行政への信頼失墜を招くことになると考えるが如何か。</p>	教育長	<p>(6) 本審議会は「学校をどうすべきか」を検討する重要な場であります。業務自体は統合を前提としたものではなく必要な情報の収集や課題整理としており、審議会の議論を無視するものではなく、むしろその意見が反映されるよう、事業者には求められる情報や審議資料を調整することで、透明性を持たせながら進めていくことを考えて行っているところであります。</p>	教育課
			<p>(7) 町長の特別顧問が、独立した諮問機関である審議会の委員に就任している。特別顧問は町長に助言する立場であるから、その人物が審議会に加わると、中立な議論が、町長が目指す方向に誘導される恐れがある。また、審議会は外部の客観的な視点を取り入れるための組織であるが、首長の側近が入ることで、その客観性が失われ、答申の説得力が弱まってしまう。教育長と町長の見解は如何か</p>	教育長	<p>(7) 審議会のメンバー選定において、より一層の透明性と公平性を確保することが重要であると考えております。 審議会の委員構成を見直すかも含め、専門的な知見を持つ多様なメンバーを選定することで、議論の質を高めるべく努めてまいります。 また、外部の専門家や住民からの意見を継続的に取り入れるなど、中立的かつ公正な議論を促進してまいります。</p>	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(8) 業務委託仕様書では、審議会の回数まで定め、業務の中に審議会の議事録作成まで含むと解される記載がある。これは、どういう趣旨か。	教育長	(8) 審議会の透明性と効率的な運営を確保するために必要な措置であると考えております。 まず、審議会の回数を定めることにより、業務受託者が実施すべき会議の頻度を明確にし、定期的な情報共有や進捗確認が行われることを目的としています。	教育課
6	幸地 猛	1. 海洋深層水利活用について(施政方針)	<p>深層水施設の整備については、民間事業者と包括連携協定を締結して、新たな産業の進出を促進をするという。久米島町がこれまで進めてきた、海洋深層水利活用事業との関連について、次のことについて、伺う。</p> <p>(1) 包括連携協定締結の内容について</p>	町長	(1) 包括連携協定については昨年10月末に株式会社商船三井と締結しました。本町における再生可能エネルギー事業や観光事業等の更なる発展に向け両者の知見、資源を活用し、相互に連携しながら様々な取り組みにおいて地域の課題解決と産業振興を目指すものです。内容は、①海洋温度差発電と海洋深層水に関すること、②DOC(ダイレクトオージェンキャプチャー)に関すること、③産業ツーリズムに関すること、④外国人人材事業に関することの4つの事項となっています。	プロジェクト推進課
			(2) 汲み上げられる深層水の量は。	町長	(2) これまで町が進めてきた事業について、発電と取水管の技術開発を民間事業者に担っていただいておりますので、従来の方針のとおり取水量は18万tを目標としています。	プロジェクト推進課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) どのような利活用が考えられているか。	町長	(3) 汲み上げられた海水をまず、海洋温度差発電に利用し、水産養殖、冷熱利用農業、製造業、観光業へ展開。取水水量の大部分は水産養殖関連で使用される見込みです。	プロジェクト推進課
			(4) 新たな産業の進出を促進することは、どういう産業を想定しているか。	町長	(4) 牡蠣、サーモン、海藻養殖や冷熱利用農業を想定しています。	プロジェクト推進課
		2. 農林水産業の活性化について(施政方針)	農林水産業の振興について、農地の確保と有効活用を推進、農地の流動化を進め、生産基盤の強化と地域経済安定を図りますという。 次のことについて、伺う。			
			(1) さとうきびの振興については機械化やスマート農業を推進することについて、現在の状況と今後の取り組みについて	町長	(1) さとうきびのスマート農業につきましては、一部農家がトラクターの自動操舵システムで作業を実施し、作業精度の向上や負担軽減に繋がっているほか、ドローンを活用した農薬散布のデモを実施しております。今後につきましては、どのようなビジネスモデルが地域にあった最適な利用となるか、引き続き検討してまいります。	産業振興課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 甘藷や野菜についての取り組みについて	町長	<p>(2) 甘藷や野菜の振興につきまして、近年の気候変動に伴う病害虫の発生や猛暑への対策が急務であると認識しております。具体的な取り組みとしましては、高温下でも安定した収穫が期待できる「耐暑性品種」や、病気に強い「抵抗性品種」の導入・普及を推進しております。</p> <p>また、栽培技術の向上を図るため、外部から専門家を招聘し、土づくりや最新の防除技術に関する農家向け勉強会を開催しております。</p> <p>今後におきましても、生産者の所得向上と安定供給を目指し、現場のニーズに即したきめ細やかな技術支援を継続してまいります。</p>	産業振興課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) 畜産振興について、トップセールの実施の方法とその効果について。	町長	<p>(3) トップセールの実施の方法とその効果につきましては、去る12月、私（町長）をはじめ、議会議長、久米島和牛改良組合長、及びJAおきなわ久米島支店長らによる「産官」一体で、主要な購買者が集まる鹿児島県においてトップセールスを実施いたしました。</p> <p>訪問の目的は、日頃の購買に対する謝意を直接伝えるとともに、継続的なセリ参加への要請、及び意見交換を行うことにより、購買者のニーズや市場の動向といった「生の声」を直接把握することができました。その効果につきましては、去る令和8年1月に行われたセリ価格は平均661千円、前年同月は平均401千円となっており、大幅な上昇となりました。</p> <p>今後につきましても、引き続き購買者へトップセールスを行い、市場の需要を的確に捉えた子牛生産への取り組みに反映させてまいります。</p>	産業振興課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(4) 水産業について「浜の活力再生プラン」事業について、スマート水産業推進事業の取り組みも行われているか。	町長	(4) スマート水産業振興事業の取り組みにつきましては、「浜の活力再生プラン」に直接の記載はありませんが、以前ICTブイの実証を実施しておりますので、スマート水産業の課題と必要性について関係機関と意見交換・整理を行い、取り組んでまいります。	産業振興課
		3. 環境保全と地域美化について(施政方針)	平成23年度に策定した「景観計画」は、社会情勢の変化等により近年は主要観光エリアに宿泊施設の開発需要が生じるなど現行の景観計画では対応が困難になりつつあるという。			
			(1) 今回の主要観光エリアとは。	町長	(1) 主要観光エリアについては、イーリゾート地区及び新興通り周辺地区を想定しています。	建設課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 景観計画はいつでも変更出来る計画となっているのか、伺う。	町長	(2) 景観計画の変更については、社会情勢の変化等により現行計画では対応が困難になった場合は可能であります。変更する場合には町民及び事業者意見の募集並びに景観委員会の意見を聴いたうえで変更しなければならないこととなっております。	建設課
		4. 上下水道事業の推進(施政方針)	上水道事業については、安全・安心な生活水の安定供給を維持するため、また、今後10年間の水道事業計画に基づき、老朽化した水道施設や設備について整備更新を図ってまいりますという。			
			(1) 新たな10年間の上水道事業計画とは、いつからの計画となっているか。計画の基本的なことについて	町長	(1) 上水道事業基本計画は、「安全・安心な水を将来にわたって安定的に供給する」ことを目的に、令和8年度から10年間の計画となっております。内容としまして老朽化した水道施設の更新整備及び適正規模の検討となっております。	上下水道課
			(2) 財政計画との関連はどうなっているか	町長	(2) 水道事業の経営は、費用等のすべてを原則水道料金収入でまかなう独立採算制ですので、財政計画と整合を図り施設更新を検討しています。	上下水道課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) 老朽化した水道施設の更新をす るということですが、その具体的な取 組みについて、伺う。	町長	(3) 取り組みにつきましては、優先事 項として既に事業が進んでいる山城浄水場 の施設更新、次に水道水の安定供給とし て、耐用年数を迎えている送水ポンプの更 新及び老朽化した水道管の更新を順次進め ていく予定です。	上下水道課
		5. 福祉セン ターの建設に ついて	福祉センターは、地域住民の福祉の向 上を目的とした施設で、相談支援、教 養、レクリエーション活動の場の提供、福 祉に関する情報提供など、多岐にわたる サービスが提供出来るという。 久米島町においても(仮称)久米島町総 合福祉センターの建設は必要ではないか と考えますが、見解を伺う。	町長	総合福祉センターの整備計画につきまし ては、過去に検討が進められた経緯がござ います。当時、着手に至らなかった主な要 因としましては、町の財政健全化を優先す べき時期であったことが挙げられます。構 想時とは社会情勢が大きく変化し、公共施 設の複合化・多機能化といった視点が不可 欠と考えます。現在の個別施設計画におけ る既存施設との整合性を図りながら、福祉 の拠点機能について整理を進めてまいりま す。	福祉課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
5	真栄平 建正	1. 学校の統廃合について	1. 教育大綱の策定者は町長または教育長か。どのような決済手続きか。現大綱と次年度以降の大綱案の概要を伺う	教育長	1. 教育大綱は、地方公共団体の長がその地域の実情に応じ、教育に関する総合的な施策の大綱を定めることになっております。これについては、総合教育会議において教育委員会と協議することになります。教育大綱の概要について、現行では、「学校教育の充実」「生涯学習の振興」「文化の振興」「学校給食」を項目としており、次期大綱についても同様の項目において策定する予定であります。	教育課
			2. 総合教育会議の役割について伺う。また、どのような事案を決定したか具体的な事案を。また、教育大綱と関連について伺う。	教育長	2. 総合教育会議は、教育や学術、文化の振興に関する施策について、町長や教育委員が集まり、協議・決定を行う重要な機関であります。これまでの協議案件については、教育大綱の策定や教育行政について意見交換を行っております。	教育課
			3. 総合教育会議の構成員の氏名、所属、選考方法について伺う。	教育長	3. 総合教育会議の構成員は地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められており、地方公共団体の長、教育長及び教育委員で構成されるものとなっております。	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 郵便局の一時休業について	1. 一時休業についてのどのような情報をいつどのように入手したか伺う。	町長	1. 一時休業につきましては、昨年10月末に日本郵便沖縄支社の担当者から連絡がありました。	総務課
			2. 何のための一時休業か、一時休業がもたらす利用者への影響をどのように認識しているか、またどのような対策取り組みをしたか伺う。	町長	2. 県道拡張に伴う立退きが休業の理由となっております。 町民の利用はもちろんのこと大口利用の役場も通知文書発送など大きな影響を受けることから、現郵便局隣接の町有地及び役場庁舎敷地内への移設を行政側として提案してきました。更に副町長が日本郵便沖縄支社を訪問して再度、現在地周辺や役場庁舎敷地内への施設設置、開業が出来ないか申し入れを行っております。	総務課
			3. 閉鎖となった場合の悪影響をどのように認識しているか、どのような対策を講じるか伺う。	町長	3. 郵便局の設置・運営を行っている日本郵便株式会社からは一時休業と聞いております。 郵便局は地域にとって重要な生活インフラであると認識しており、町民の皆様への利便性確保の観点から早期の再開について要望してまいります。	総務課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 久米島町先導的官民連携事業(バーデハウス・パークゴルフ場)プロポーザルについて	1. 最優秀提案者決定から現在までの経緯と現在の状況及び今後の工程を伺う。	町長	1. 令和6年度に実施した先導的官民連携事業において、バーデハウス久米島の再生、泊フィッシャリーナの活性化および旧久米島中学校とシーサイドパークゴルフ場の効果的な活用に関して町と連携して推進する事業パートナーを公募、選定しました。泊フィッシャリーナに関しては提案内容が審査基準点に届かなかったため、事業パートナーの選定には至りませんでした。バーデハウス久米島及び旧久米島中学校とシーサイドパークゴルフ場においては事業化に向けた詳細協議を行うため、令和7年6月に協定書を締結し、現在、それぞれの事業パートナーと継続して協議を行っている状況です。	商工観光課
			2. 公募要項で最優秀提案者と協定書締結後、当提案者の提案概要を公表するとしており。公表したか。	町長	2. バーデハウス久米島及びレストラン施設の再生に関しては、官民連携事業として事業パートナーを選定し、現在事業化に向けて協議を続けています。協議が整い次第、事業スキーム(事業の資金調達、設計、建設、維持管理、運営)を含めた提案概要書を公表し、実施段階へ移行することとしております。	商工観光課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			3. 町民向けの温浴施設の再開はどうなっているか伺う。	町長	3. バーデハウス久米島の再生に関しては、事業パートナーと詳細協議を続けている段階であり、町民向けの温浴施設の再開に関しては、現段階の協議で再開の目途はたっておりません。	商工観光課
		4. 道路整備について	1. 真謝マンドー原農道の具体的な整備計画はあるか伺う	町長	1. 真謝マンドー原農道については、補助事業採択、用地取得及び財源確保が難しいため、整備は厳しい状況ではありますが、引き続き検討してまいります。	建設課
			2. 宇江城城址線事業の令和7年度まで(年度毎)と今後の財源の内訳を伺う	町長	2. 宇江城城址線の年度毎財源内訳は次のとおりで、令和6年度までが実績額で令和7年度以降は予定額となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 国庫14,759千円 一般財源3,690千円 ・令和元年度 国庫22,104千円 起債額3,000千円、一般財源1,727千円 ・令和2年度 国庫18,018千円 起債額4,500千円、一般財源4千円 ・令和3年度 国庫55,368千円 起債額13,600千円、一般財源244千円 ・令和4年度 国庫74,121千円 起債額18,500千円、一般財源32千円 ・令和5年度 国庫74,362千円 起債額12,400千円、一般財源6,191千円 	建設課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度 国庫120,984千円 起債額30,200千円、一般財源47千円 ・ 令和7年度 国庫106,339千円 起債額26,500千円、一般財源86千円 ・ 令和8年度 国庫71,740千円 起債額17,900千円、一般財源35千円 ・ 令和9年度 国庫84,049千円 起債額21,000千円、一般財源12千円 ・ 令和10年度 国庫114,726千円 起債額28,600千円、一般財源81千円 ・ 令和11年度 国庫119,979千円 起債額29,900千円、一般財源95千円 <p>であります。</p>	

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
11	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治	<p>今回の衆議院議員の解散総選挙は自民党が3分の2以上と圧勝。いよいよ二次大戦直前の近衛内閣時の大政翼賛会に酷似。更に憲法9条改悪によって、中国国民を虐殺、植民地化した日中戦争へと向かう事になる。その端緒は高市総理の「存立危機事態」にある。</p> <p>私は、故大田昌秀元沖縄県知事から「政治にある者は歴史を学べ」と言われた。今、正に「歴史は繰り返す」だ。世界情勢を見れば、日本、沖縄ひいては久米島にも及ぶ。その前にアメリカ軍は嘉手納弾薬庫にある40万発の劣化ウラン弾を打ち込むことになる。今でも朝方土・日曜問わず攻撃機が射爆撃場に向け飛んでいる。町長に伺う。</p>			
			<p>(1) 町長は約4年前から「ジョン・ミッチェルが入手したアメリカ公文書」について確認していないと答弁等をしている。何故しらを切り続けるのか。これは騙しになる。</p>	町長	<p>(1) 公文書につきましては、関係機関に事実関係を照会しておりますが、現時点において確認はできておりません。</p>	総務課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 烏島射爆撃場の環境汚染はないとか、町民への健康への影響はないと言いつけているのは何故か。私はあると断言する。	町長	(2) 国が実施した環境調査の結果を受けて、自然環境や住民の健康への影響がないと町及び町民に対して報告を行っており、町民の健康診断の結果並びに町民の死因の分析結果などを総合的に検討すると放射物質の影響はないものと考えます。	総務課
			(3) 烏島射爆撃場の早期返還を町民挙げて、あるいはマスコミ等に訴えないのは何故か。	町長	(3) 烏島射爆撃場の契約期間更新時においても早期返還を要望しており、また沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会においても毎年関係機関へ要請しております。	総務課
		2. 自然再生等について	(1) 銭田川を石積工法でと県と約束させた。そのため私は用地を拒否した地権者数名を説得・契約させた。県から1名でも契約拒否すれば数か月後には、予算を他の自治体へ委譲する。町に予算が戻るのは20年先だと言われた。それでも美栄橋から上流を三面コンクリートにした。生物多様性を死滅させた。その理由は。	町長	(1) 美栄橋から上流については、住宅地に隣接しているため施設用地に制約があったということです。住宅地の安全のため、可能なかぎり住宅地と排水路を離し、必要な通水断面と維持管理用道路を確保するため三面コンクリート工法となったとの報告を受けております。	建設課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(2) バージェハウス前の階段式コンクリート護岸の塩害が原因で機械や建物を腐蝕させていると、私が県の担当課を説得し、撤去の了解を得た。ところが町は「コンクリート護岸の撤去はない。背後の土地を守るため」と答弁した。今、バージェハウスはどうなっているか。</p>	町長	<p>(2) バージェハウス久米島及びレストラン施設の再生に関しては、官民連携事業として事業パートナーを選定し、現在事業化に向けて協議を続けています。協議が整い次第、事業スキーム（事業の資金調達、設計、建設、維持管理、運営）を含めた提案概要書を公表し、実施段階へ移行することとしております。</p>	商工観光課
			<p>(3) 真泊の避難階段は当時の総務課長や区民を交えて議論、「涙石」までの施工とした。当時町長は一括交付金の7,400万円の予算を公示したが道路途中までの3,000万円を投じて終わった。その理由は。</p>	町長	<p>(3) 避難階段の場所は、平成26年11月に土砂災害警戒区域、平成31年3月に土砂災害特別警戒区域に指定されたことから事業の見直しを行っております。</p>	総務課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(4) 私は以前から、久米島・粟国・渡名喜を一带とした国立公園を提唱した。今や国立自然史博物館の提案がある。町としての構想は。</p>	<p>教育長</p>	<p>(4) 本町を含む久米島周辺海域は、多様で貴重な自然環境を有しており、これらは自然史研究や環境教育との親和性が極めて高い地域であると認識しております。 その観点から、現在提案されている国立自然史博物館の構想につきましては、教育・学術・観光の各分野において波及効果が期待される取組であり、本町としても関心をもって情報収集を行っているところでございます。仮に誘致が実現した場合には、町民や来訪者が自然環境の価値をより身近に学ぶ機会が創出されるとともに、研究者や専門人材の関与を通じて、地域資源の科学的評価や保全活動の質的向上が図られるものと考えております。 本町としましては、県への誘致が決まるように共に誘致活動を行い、並行して情報共有しながら、協力体制をとり、町への誘致活動を行ってまいります。</p>	<p>博物館</p>

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 仲里小学校前から泊間の県道拡張工事について	本件は20年前から片側9m両側拡張工事の杭打ちされている。全く進展しない。本件道路に関し、郵便局から泊集落の端まで80%以上の同意書をとれと言われた。86%の同意書を添付した陳情書を平良元町長等と共に県土木建築部長に対し手交した。その結果を伺う。	町長	県道久米島空港真泊線の謝名堂から泊間の整備については、沖縄県土木建築部との行政懇談会において継続要望しております。県の対応については、事業化及び予算確保に努めるとの回答でありました。早期に事業化にできるよう引き続き要望してまいります。	建設課
3	喜久里 猛	1. 施政方針から	(1) 第3次久米島町総合計画は3月一杯に完成するか。	町長	(1) 「第3次久米島町総合計画」の策定状況につきましては、「基本構想案」の審議を終え、「前期基本計画案」の策定作業を行っているところです。 3月中旬に開催する振興計画審議会に取りまとめを予定しており、3月での策定に取り組んでまいります。	企画財政課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 高齢者福祉については独居老人の住居の斡旋も必要ではないか。又老人ホームの増設又は新設はどうか。	町長	(2) ご質問の住居の斡旋につきましては、相談等もあり必要性は認識しております。しかしながら、身元保証人や孤独死等の理由で物件が探しにくいという課題がございます。住宅確保要配慮者に対する居住支援を構築するため、関係部署と検討してまいります。 老人ホームの増設及び新設につきましては、待機者問題等、高齢者福祉における課題と認識しております。しかしながら、施設整備にあたっては、財政負担、人材不足、将来的な介護保険料への反映という懸念がございます。今後、久米島町に必要な施設整備について検討してまいります。	福祉課
			(3) 教育の充実については教員住宅の維持管理は十分か。コンクリート剥離、ボイラーの故障等。	教育長	(3) 教員住宅における維持管理については、外観目視点検を行っており、劣化具合についてもある程度把握しております。ただし、コンクリートの剥離やボイラーの故障といった問題が指摘されている状況については、十分な対応ができていないと思っております。 できるだけ生活するうえで安全面に留意しつつ、生活に支障のないように適切な維持管理に努めているところであります。	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(4) 交通の充実、ホテル館への大型バスの乗り入れはできないか。駐車場の整備はできないか。	教育長	<p>(4) ご提案の大型バスの乗り入れや道路拡張につきましては、道路幅員の拡張に伴う地形改変、野生動植物の生息環境の破壊、夜間利用の増加による生態系への負荷などが懸念されます。また、ホテル館は大量集客型の観光施設ではなく、自然体験を通じた環境学習を主目的とする施設であり、国が示す「持続可能な観光（サステナブルツーリズム）」の観点からも、過度な来訪集中、いわゆるオーバーツーリズムの発生は本来の設置目的と整合しないと考えております。</p> <p>駐車場の大規模整備につきましても、舗装面積の増加による周辺環境への影響を慎重に検討する必要があります。以上のことから、現時点で大型バスの直接乗り入れや駐車場の大規模整備を行う予定はありませんが、一方で、議員のご指摘のように、交通利便性の向上という課題は認識しておりますので、既存駐車場の適正利用、小型車両での分散来訪の誘導、環境負荷の少ない交通手段の検討など、自然環境との調和を前提とした対応の検討を行ってまいります。</p>	博物館

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(5) 農林水産業の活性化</p> <p>ア. ハーベスター導入が5年間ないが政治的な取り組みが必要ではないか。</p> <p>イ. コーヒー・バニラの安定生産とは何を指して言っているのか。</p>	町長	<p>(5)</p> <p>ア. ハーベスターの導入につきましては、現在、県内全域で導入数が伸び悩んでいる状況にありますが、本町においても既存機械の老朽化対策は喫緊の課題であると認識しております。離島の実情に即した導入支援制度の拡充等も含め、関係団体とも協議のうえ、様々な取り組みを検討し、実施してまいります。</p> <p>イ. コーヒー・バニラにおける「安定生産」とは、気象条件に左右されず、市場の需要に応えられる「一定の収穫量」と、加工・販売に耐えうる「均一な品質」を継続的に確保することを指しております。現在は生産農家数が少なく、供給が不安定なことが課題ですが、栽培マニュアルの整備による品質の平準化や、新規栽培者の掘り起こしによる増産を図るなど、農家や関係機関と連携し、産業として確立できるよう取り組んでまいります。</p>	産業振興課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(6) 商工観光の活性化、兼城港ターミナルのゴミ箱はどうなっているか。 (観光の姿勢を問う。)	町長	(6) 兼城港ターミナルのゴミ箱設置については、施設利用者のゴミ以外に家庭ゴミなどの持ち込み投棄が懸念されることや、公共空間の安全及び衛生対策としてゴミ箱設置は行わない方針であります。「ゴミの持ち帰り」という意識を醸成し、快適で衛生的な公共空間を維持するため施設利用者へマナー向上の周知を図ってまいります。	建設課
			(7) 環境保全と地域美化、松くい虫については町の努力を評価するが、この後どうするか。失われた緑を取り戻すため山林の植樹が必要ではないか。	町長	(7) 松くい虫被害については、多くの立ち枯れにより森林荒廃や土壌流出、土砂崩壊等が懸念されております。そのような中で令和6年12月に植生調査を行っております。調査地点については、常緑広葉樹で占められた下層により著しい森林荒廃の可能性は低いと考えられており、再び松林化する可能性は低く赤土流出の痕跡も確認できなかったという結果が出ております。今後も被害地の植生の把握と遷移を予想しながら植樹が必要か検討してまいります。	環境保全課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	新垣 幸子	1. 畜産振興について	<p>令和8年度の施政方針に「上場頭数が減少傾向にあることから、引き続き優良繁殖雌牛の導入による子牛生産の拡大を図るとともに、トップセールスによる久米島産子牛のPRに取り組んでまいります。」とありますが、3点伺います。</p> <p>(1) 3年間(令和4年度～6年度)の各年度の予算額及び決算額と頭数について</p> <p>①優良繁殖雌牛導入事業</p> <p>②優良雌牛自家保留支援事業</p>	町長	<p>(1) 各年度の予算額及び決算額等につきましては、</p> <p>①優良繁殖雌牛導入事業で令和4年度予算額25,000千円、決算額21,814千円、56頭導入、令和5年度予算額35,000千円、決算額19,689千円、56頭導入、令和6年度予算額25,000千円、決算額8,034千円、22頭導入となっております。</p> <p>②優良雌牛自家保留支援事業で令和4年度予算額5,000千円、決算額5,007千円、133頭保留、令和5年度予算額5,500千円、決算額4,900千円、98頭保留、令和6年度予算額5,500千円、決算額3,100千円、62頭保留となっております。</p>	産業振興課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			③繁殖雌牛共済掛け金助成金	町長	③繁殖雌牛共済掛け金助成金で令和4年度予算額16,773千円、決算額15,390千円、93戸、令和5年度予算額16,727千円、決算額16,563千円、87戸、令和6年度予算額17,810千円、決算額12,936千円、85戸への助成となっております。	産業振興課
			④繁殖雌牛に対する飼料購入支援事業		④繁殖雌牛に対する飼料購入支援事業で令和4年度予算額15,326千円、決算額14,498千円、91戸、令和5年度予算額10,692千円、決算額10,503千円、93戸、令和6年度予算額10,000千円、決算額9,969千円、91戸への助成となっております。	

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(2) 良質の牛を生産するためには、指導体制の強化が重要であると認識していますが、ご見解を伺います。</p>	町長	<p>(2) 良質な牛を生産し、産地としての競争力を高めるためには、指導体制の強化と、農家間での情報共有が極めて重要であると認識しております。久米島和牛改良組合では、島外の先進地視察を通じた技術の情報収集や、NOSAI（農業共済組合）と連携した伝染病対策の勉強会を実施するなど、個々の農家の技術向上を支援しております。</p> <p>また、去る8月に開催した「久米島町肉用牛共進会」では、個体の比較品評を通じて、具体的な飼養管理や改良増殖に関する知見を共有する貴重な機会となりました。こうした場は、農家同士が切磋琢磨し、互いの技術を底上げする重要な場であると考えております。</p> <p>今後におきましては、町、JA、改良組合、及び専門家による連携をさらに深め、和牛の資質向上と増産に向け取り組んでまいります。</p>	産業振興課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(3) 前回のトップセールスの状況と今後どのように展開していくのか、町長のご見解をお伺い致します。</p>	町長	<p>(3) 前回のトップセールスの状況と今後の展開につきましては、去る12月、私(町長)をはじめ、議会議長、久米島和牛改良組合長、及びJAおきなわ久米島支店長らによる「産官」一体で、主要な購買者が集まる鹿児島県においてトップセールスを実施いたしました。訪問の目的は、日頃の購買に対する謝意を直接伝えるとともに、継続的なセリ参加への要請、及び意見交換を行うことにあり、購買者のニーズや市場の動向といった「生の声」を直接把握することができました。今後につきましても、引き続き購買者へトップセールスを行い、市場の需要を的確に捉えた子牛生産への取り組みに反映させてまいります。</p>	産業振興課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 町立学校等適正規模・適正配置の取組みについて	<p>令和8年度の施政方針に「少子化が進む中、子どもたちが集団の中で切磋琢磨し、多様な考えに触れながら社会性を育む教育環境を確保することは喫緊の課題であり、取り組みにあたっては、文部科学省の手引きに基づき教育的視点を最優先としつつ、学校の役割や通学環境にも十分配慮し、保護者や地域住民の皆様との対話を重ねながら、本町にふさわしい学校の在り方について検討を進めてまいります。」とありますが、5点伺います。</p> <p>(1) 去る1月23日から30日までに実施された「久米島町立学校適正規模・適正配置に関する説明会」について伺います。</p> <p>①説明会の具体的な内容について ②参加人数 ③どのような意見がありましたか。</p>	教育長	<p>①説明会の具体的な内容については、少子化による児童生徒数の減少に伴い、複式学級の増加などの課題について説明したところであります。</p> <p>②の参加人数につきましては、総数で87名の方が参加しております。</p> <p>③どのような意見があったかについては、「早くできないか」「小中学校からでも先に行ってほしい」などの意見がありました。</p>	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(2) 説明会資料より、幼小中学校の適正規模について具体的な内容を伺う。</p> <p>① 幼児教育の質の向上と子育て支援策</p>	教育長	<p>① 幼児教育の質としましては、「学びに向かう力」「人間性」「思考力」といったことを、遊びを通じて総合的に育むためには2年以上の幼児教育が必要ではないか考えております。</p>	教育課
			<p>② 複式学級の解消</p>	教育長	<p>② 複式学級については、1年生を含む学年については8人、2年生以上は16人が上限となっており、複式学級の解消については、1学年1学級以上が必要となります。</p>	教育課
			<p>③ 同学年複数学級の配置（クラス替え、一定規模の集団の確保）</p> <p>④ 同学年複数担任</p>	教育長	<p>③④の同学年複数学級及び同学年複数担任については、1学年2学級以上が必要となります。</p>	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			⑤特別支援学級の適正化	教育長	⑤特別支援学級の適正化については、1学級あたり8人が上限となっており、現在1名から2名の小規模クラスもあり、適正化を図ることで効率的な教職員配置が可能ではないか考えております。	教育課
			⑥免許外教科指導をなくし、すべての授業で教科担任による教科指導（中学校）	教育長	⑥免許外教科指導については、中学校に関することになりますが、9教科の配置には少なくとも9学級以上が望ましいものと考えております。	教育課
			（3）説明会資料より、幼小中学校の適正配置について具体的な内容を伺う。 ①将来的なまちづくりを視野に入れた学校環境づくり ②現有学校の利活用 ③災害への配慮 ④建築経費 ⑤必要用地の確保 ⑥通学支援	教育長	（3）幼小中学校の適正配置に関する取組は、次年度以降に本格的な課題整理を行っていく予定としております。ご質問の内容につきましても、しっかり整理したうえで検討してまいりたいと思います。	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(4) 久米島町立学校等適正規模・適正配置検討審議会について伺う。</p> <p>①構成委員について</p> <p>②これまでに実施された会議の回数と内容について</p> <p>③今後、答申を受けた後に改めて住民説明会を実施し、意見を拝聴する機会がありますか。</p>	教育長	<p>(4)</p> <p>①検討審議会の構成員は、学識経験者3名、町立学校長2名、保護者3名、保育園園長3名、区長会1名となっております。</p> <p>②会議の回数はこれまで2回行い、第1回目では、久米島町立学校及び幼稚園の現状について説明いたしました。第2回目には、「本町が目指す教育について」「先進事例調査」「学校施設の現状」「久米島町立学校等適正規模・適正配置の検討」について、説明したうえで審議していただきました。</p> <p>③住民説明会についても、適宜行ってまいります。多くの意見を拝聴していきたいと考えております。</p>	教育課
			<p>(5) 今後の全体的なスケジュールについて</p>	教育長	<p>(5) 今後のスケジュールにつきましては、適正配置に関して詳細な情報を整理していくこととしており、基本計画として検討したいと考えております。</p>	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
9	吉永 将志	1. だるま山の桜並木について	<p>だるま山の桜並木が始まる旧滑走路の付近では、桜の木の根元に大量のゴミが埋まっている。そこで伺います。</p> <p>①桜はいつ誰が植え、これまで誰が管理することになっているか。</p> <p>②ゴミはいつからのもので、どういった人が捨てているか把握しているか。</p> <p>③現在行っている対策と今後の対策方針は。</p>	町長	<p>①桜については、旧具志川村時代に植栽されておりますが、これまで誰が管理することになっているかということについては決まっておりません。草刈等については、環境保全課で対応しております。</p> <p>②ゴミについては、いつからのもので、どういった人が捨てているかというのは把握できておりません。</p> <p>③当該箇所については、廃棄物などを撤去して対応しております。今後は不法投棄が起らないよう周知対策に取り組みます。</p>	環境保全課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. パブリック・コメント募集の現状と課題について	<p>① どのような方法で行っているか。</p> <p>② 直近の事例では何件程の意見が集まったか。</p> <p>③ 方法・期間等、町民の意見が寄せやすい方法になっているか。</p>	町長	<p>① パブリックコメントにつきましては、町ホームページでの公表や、庁舎内所管課、具志川出張所等における閲覧により実施しております。</p> <p>② 確認できた直近事例では、意見等はありませんでした。</p> <p>現在、「久米島町過疎地域持続的発展計画（素案）」のパブリックコメントを実施しておりますが、2月18日時点で、意見等はない状況です。</p> <p>③ 方法につきましては、町民が参加しやすい環境を考慮しておりますが、閲覧場所の拡充や町公式LINEの活用等、新たな手法も検討しながら取り組んでまいります。</p> <p>期間については、概ね2週間程度で実施しております。</p>	企画財政課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 選挙運営について	①嘉儀山地区の場所移動に関して、十分な説明・案内を行ったか。	町長	①嘉儀山地区については、これまでの場所について様々な課題があることから昨年参議院議員選挙終了後に3地区の区長とも意見交換を行い今回の選挙より場所を移動して運営を行いました。周知活動については、町ホームページ、町公式ライン、町広報2月号に掲載したほか、FMくめじまにおいても、第3投票所の変更について個別にお知らせをしております。	総務課
		4. 学校区分の変更に対する基準について	①申請があった場合、申し込みから決定までの手順は。 ②これまでの事例でトラブル等があったか。それに対し十分な検討・説明をされたか。	教育長	①指定校区変更については申請内容に基づいた審査が行われます。この審査では、地域の教育環境や学校の運営状況などを総合的に考慮し、申請者の求める変更が許可基準に照らしてどうか検討します。その結果、教育委員会内で協議し、決定を行う流れとなります。 ②学校区分の変更申請において、いくつかのトラブルが発生したケースがありました。具体的には、保護者からの反対意見や、取り組み方への改善要望が寄せられた事例がありましたが、その際には、できるだけ意見を聴取し、丁寧な説明を心がけてまいりました。	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		5. シルバー人材センターについて	<p>①現在の進捗状況は。</p> <p>②今後の支援方針は。</p>	町長	<p>①現在の進捗としましては、2月の準備委員会において定款の整備、運営体制、事業計画、予算等について調整を終えております。</p> <p>②今後の支援としましては、3月の設立総会に向けて連携してまいります。さらに加速する高齢化社会を見据え、センターと連携し、周知啓発と体制強化に努めてまいります。</p>	福祉課
2	富永 肇	1. 学校教育について	<p>教員のなり手不足や休職などが全国的な課題となっている。沖縄県は教員休職率の割合が全国でも高い。精神的な体調不良が主である。教育の充実として教員の働きは児童生徒への影響が大きいと考えます。</p> <p>(1) 8年度の教員または特別支援員未配置の状況はあるか。</p>	教育長	<p>(1) 沖縄県においては、教員の未配置が生じているとのことですが、本町において未配置はありません。特別支援員についても可能な限り配置をしております。</p>	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 学校教職員の働き方改革の推進は図られているか。	教育長	(2) 令和元年に策定した教職員働き方改革推進計画については、着実に進められております。次年度には法改正を受け、業務量管理などを含む実施計画を策定するなど、時間外在校時間が月45時間を超えることのないように取り組む予定であります。	教育課
			(3) 教員宿舎の老朽化が著しい。住環境の整備計画を伺う。	教育長	(3) 教員宿舎の整備計画については、現時点では予定はありません。老朽化した宿舎については、点検を行い、修繕要望について丁寧に対応しているところであります。今後も教職員が安心して生活できる住環境づくりに努めてまいります。	教育課
			(4) 学校校舎の老朽化による安心、安全な学習環境ではない状況である。今後の取り組みは。	教育長	(4) 学校校舎の老朽化が進行しております。特に小学校で老朽化が著しく見受けられ、児童生徒の学ぶ環境として大がかりな対応が必要な状況であります。現時点で整備計画はありませんが、危険箇所等の早期対応による、安全安心な学習環境づくりに努めているところであります。	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(5) 教員の中学校部活動「教員特殊業務手当」の状況を伺う。	教育長	(5) 教員の部活動指導は大変な負担となっており、その見直しが進められております。沖縄県では、部活動における指導業務で、週休日等に日額2,700円、大会引率時には日額5,100円の支給となっております。	教育課
		2. 学校給食費無償化について	2026年度から公立小学校で給食費の実質的な無償化が開始されると国が示した。(財源は国で所得制限を設けない)現在、本町も給食費の補助に取り組んでいるが、今後、保幼小中学校の給食費無償化に取り組む考えはあるか伺う。	教育長	本町では今年度も国や県の助成金を活用し、給食費の一部補助に取り組んでいるところであります。国の小学校無償化の動きを受けて、さらなる検討が必要であると思っております。無償化の実施に向けては財源の確保が重要になりますので、恒久的な自主財源の活用については慎重な検討が必要だと考えております。	教育課
		3. 学校の適正規模、適正配置について	1月23日から1月30日にかけて各小学校(6校)にて説明会を行いました。参加人数や、どのような意見があったか伺う。	教育長	各小学校での説明会では総数87名の方の参加がありました。どのような意見があったかについては、「早くできないか」「小中学校からでも先に行ってほしい」などの意見がありました。	教育課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		4. 物価高騰への支援事業について	物価の高騰が続いており、家計の負担が増大している。各自治体で独自の物価高騰に対する支援を行っているが今後、物価高騰に対するどのような支援計画があるか伺う。	町長	物価高騰支援につきましては、町民1人あたり18,000円の現金給付をはじめ、保育園副食費等、幼稚園・中学校の給食費負担軽減、上水道基本料金負担軽減の事業を計画しております。 現金給付については令和8年3月から、その他の事業については4月からの実施を予定しております。	企画財政課
1	棚原 哲也	1. 日台漁業取り決め及び日中漁業協定の見直しについて	(1) 平成25年に発効した日台漁業取決めは本県漁業者の頭越しに締結されたものであり、本県漁業者は台湾漁船とのトラブルに不安を抱えながら操業をしている。適用水域で漁場を確保するには取決めの見直し等による改善が必要である。	町長	(1) 日台漁業取決めにつきましては、操業ルールの不透明さから、現場の漁業者が台湾漁船とのトラブルに不安を抱えながらの操業を余儀なくされている状況を重く受け止めております。漁場を安定的に確保するためには、取決めの見直しを含めた改善が必要であると認識しております。	産業振興課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(2) 平成9年に署名、平成12年に発効した日中漁業協定は北緯27度以南を協定の適用除外水域とする。当時の外務大臣書簡により中国漁船により違法操業が行われた場合でも取締りができない内容となっており、本県漁業者の権益及び安全を確保し、沖縄周辺海域の水産資源を管理するため、外務大臣書簡の破棄と日中漁業協定第6条の見直しが必要である。漁業関係団体等からの見直し要請を後押しする為、県内市長会、町村会、県議会等の協力が必要と考える。町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>(2) 日中漁業協定につきましては、北緯27度以南が適用除外とされ、現状では外国漁船に対して実効性のある取り締まりが困難な状況にあります。これは水産資源の保護のみならず、漁船の安全航行において極めて大きな課題です。 本町としましても漁業者の皆様の不安を解消すべく、県内市町村会や関係団体と連携を図ってまいります。</p>	産業振興課
		2. 海洋深層水を活用した町おこしの状況について	<p>(1) 国内最大規模の揚水量、日量1万3千トンの海洋深層水の町内での活用状況について、研究所・他の深層水利用割合は。</p>	町長	<p>(1) 研究所内での活用が約65%、研究所外が約35%となっております。</p>	プロジェクト推進課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(2) 仲里漁港真謝地区において民間事業者が進めている温度差発電実証試験の進捗状況は、企業が沖縄県より借用している漁港用地の借用期間(年限)は何年までは伺う。</p>	町長	<p>(2) 令和4年10月から開始された環境省補助事業の当該実証は令和7年12月で予定した実証内容はすべて完了しております。実証の目的としては、200kw級パイロット機でのフィールド実証試験により、OTECの大規模熱回収システムを確立することとしており、実証項目としては、・熱交換器の高度化 ・取水海水の分散均等化と汚れ検証 ・熱交換器の海水側洗浄システムの開発等となっています。 真謝漁港の借用期間については今年度末までとなっておりますが、実証事業者は継続して海水の通水試験及び敷設管の耐久試験を行いたいとのことで、使用期間の延長を行う予定となっております。</p>	プロジェクト推進課

令和8年第3回3月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 奥武島西海岸の砂浜の保全対策について	砂の移動が顕著になっており水路（船の航路）の幅が縮小状況にあり、放置しておくとならば船の航行、漁業活動に大きな支障を来す。又、日本の渚100選のイーフビーチにも大きな異変をもたらす恐れがある。対策について町長の見解を伺う。	町長	沖縄県に確認したところ、仲里漁港泊地区につきましては、今年度航路等の測量調査を行い、調査結果次第で航路浚渫等の対策を検討するとのことです。 砂の移動については、改善対策の可能性について関係機関と協議したいと考えております。	建設課